

# Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



市と西脇商工会議所は「新年に集う会」を共催。参加した市内の商工業者の関係者や地域の代表者ら約200人が新年のあいさつを交わしました。(1月5日、西脇ロイヤルホテル)



第34回西脇市子ども造形作品展を開催。市内の小中学校や北はりま特別支援学校に通う児童と生徒らの絵画や工作作品など約3,000点を展示しました。(1月19日～22日、市民会館)



地域の皆さんが安心して新しい年を迎えられるように、西脇市消防団が年末警戒を実施。団員は連日午後8時から深夜まで巡回を行いました。(12月28日～30日、市内各所)



市役所1階の市民ギャラリーで西脇高校生活情報科が「Cool Japan Cool Banshu-ori」を開催。高校生の感性で播州織の魅力を表現しています。(3月31日まで、西脇市役所)

## 西脇市産イチゴのブランド化を目指して

〔1月14日 茜が丘複合施設Miraie〕



アイデアを出し合い解決策を探す「アイデアソン」は神戸大学や市内の企業の協力を得て初めて開催

初開催の「アイデアソン」で高校生から社会人まで約40人が、西脇市産イチゴのブランド化に向けた事業を考えました。参加者は市内のイチゴの現状を学んだあと、グループに分かれて意見を話し合いました。提案された事業は検討を重ねて、4月に神戸市で開催されるイベントで発表される予定です。

## 新春の書き初め大会で子どもたちが筆を振るう

〔1月6日 旧来住家住宅〕



八つ切りの書き初め用紙いっぱいに課題の字を書き上げる子どもたち

まちづくり団体・西脇TMOによる新春恒例の「第14回来住邸新春子ども書き初め大会」が行われ、市内の幼稚園児から中学生まで42人が参加しました。子どもたちは「子いぬ」や「明るい年」、「光る水玉」などの学年ごとの課題に真剣な表情で筆を走らせていました。

## 真っ赤なイチゴに児童らが大喜び

〔1月12日 篠田いちご園〕



19人の児童は酸味が少なく甘いのが特徴の「章姫」を食べて大喜び

篠田いちご園に招待された芳田小学校1年生がイチゴ狩りを楽しみました。同園では観光農園の開園を前に、平成16年から毎年招待しています。代表の篠田重一さんによると、今シーズンのイチゴは上々の出来とのこと、児童らは口いっぱいイチゴを頬張り、「甘くておいしい」と大喜びしていました。



(左上) 播州織エプロンを藤本店長(右)に手渡す生徒ら (左下) 寄贈された点訳絵本 (右) 点訳絵本を寄贈した生徒と点訳を指導した西脇点訳友の会のメンバーら

西脇高校の生徒が図書館に点訳絵本9冊を、北はりま農産物直売所「北はりま旬菜館」に播州織エプロン5着を寄贈しました。生徒ら15人は西脇点訳友の会のメンバー4人に指導を受けながら、1冊あたり約12時間かけて点訳絵本を制作。寄贈式で生徒らは笹倉教育長に絵本を手渡し、「目の不自由な方に読書を楽しんでもらえたらうれしい」と話しました。点訳絵本の寄贈は平成11年に始まり、今回で189冊になりました。絵本は点字絵本コーナーに配架しています。また、家庭クラブの生徒ら20人が播州織制作したエプロンを旬菜館の藤本店長に手渡しました。平成23年のオープン以降、制作したエプロンを毎年寄贈しており、生徒らは昨年のエプロンの使い心地を聞き取ってデザインを改良し、約2週間かけて仕上げました。

## 西脇高生が点訳絵本と播州織エプロンを寄贈

〔1月11日 茜が丘複合施設みらいえ、北はりま農産物直売所〕



109人の参加者が玉木幸則さん(中央)らとともに暮らしやすいまちづくりについて意見交換

## 誰もが暮らしやすい社会に

〔1月13日 市民会館〕

NHKの情報バラエティー番組でコメントーターを務める玉木幸則さんを講師に迎え、障害者差別解消シンポジウム「あなたならどうする?誰もが過ごしやすい社会について考えてみませんか」を開催。参加者は日常生活で起こり得る事例について、障害のある方やその家族らと意見交換をしたほか、障害者差別解消法を学び、誰もが暮らしやすいまちづくりについて考えました。



西脇東中学校では西脇北高校の生徒ら8人が被災地でのボランティア活動を報告

## 大震災を風化させない

〔1月17日 西脇東中学校ほか〕

阪神・淡路大震災の発生から23年の日に、市内の小中学校で避難訓練や追悼集会などが行われました。西脇東中学校での追悼集会では全校生徒による黙とうに続いて、西脇北高校の生徒らが東日本大震災や九州北部豪雨の被災地の様子とともに現地で行った土砂の撤去作業などの支援活動を報告。中学生は自然災害について考え、お互いに助け合って共生する大切さを学びました。

# まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 Facebook で情報発信中!